



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2006. 5 月号

子供の日これからだ！ 5月6日（土）・7日（日） ～博物館こどもフェスタ～



端午の節句は終わっても、博物館の子供の日はこれからだ。2日間で18もの催し物が実施される、前代未聞のこどもフェスタ。どれだけ多くの催し物に参加できるか挑戦してみよう。君もあなたも、GW最後の思い出づくりに、ぜひ博物館へいらっしやい。

盛りだくさんのJr. 向け行事の中で、注目は「博士は君だ!! 小学生クイズ大会」。日時は6日と7日の午後3時から。小学1年～6年生なら誰でも出場資格アリ。出場希望者は3時までに講堂前へ集合！そこで、まずは予選。博物館に関する〇×クイズを勝ち抜いた10名だけが本戦に出場できる。

本戦は早押しならぬ、早挙げクイズ。いち早く、元気よく「ハ～イ」と手を挙げた子が答える。出題問題は、博物館の6分野＋博物館＋平塚市の8ジャンルが各3問の計24問。学校の成績は関係なし、日頃、博物館の展示をマメに見ている子が有利かも。

そして、本戦出場者10名には、ささやかな博物館オリジナルグッズがプレゼントされる。優勝者から順に、好きな賞品を獲得できるぞ。さあ、今からでも遅くはない、クイズ大会に備えて展示室をひと回りしてみてもどうだろうか。



星のひろばに新しい展示が仲間入り

二階から三階への階段の上がり口から「星のひろば」がはじまります。階段を上がっていくと、その壁面に「太陽と太陽系の惑星たち」という模型とパネルが、さらに三階へと上がっていくと、左の壁面に大型のプラズマモニターがあります。これは「太陽は今」というコーナーで、屋上に設置した太陽望遠鏡からの太陽画像を写しだしています。では、新しい展示のくわしいご紹介をしましょう。

★太陽と太陽系の惑星たち

展示を見て、まず目につくのが白い太陽です。そしてそのすぐ脇に惑星たちの模型が並んでいます。なかでも木星と土星は大きいですね。この太陽系には地球を含めて9つの惑星があります。「すいきんちかもくどてんかいめい」と覚えましょう。その地球の大きさを直径5cmとしたとき、太陽や太陽系の惑星たちの大きさは、どれくらいになるかを模型で表しています。最も大きな太陽は5.5m、惑星で最大の木星は56cm、最も小さい冥王星は0.9cm、その縮尺は、

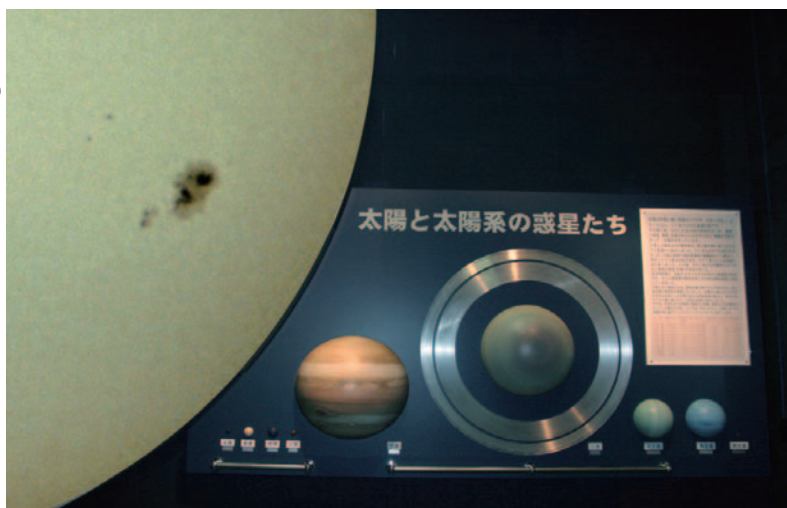
2億5千5百万分の1です。惑星それぞれは、太陽に近く地球に似た硬い岩石の表面を持つ地球型惑星と呼ばれる水星、金星、地球、火星は石でできています。なかでも地球はラピスラズリ、和名を瑠璃（るり）と呼ぶ古代から珍重されてきた石です。それぞれの惑星は大きさだけではなく、太陽に近い惑星は暖かく、太陽から遠い惑星は冷たくなるような装置が組み込まれています。ほんとうはもっと熱かったり、冷たかったりするのですが、ある惑星より太陽に近いかわいかに変わる様子を表現しているのです。では、ある惑星とはなんでしょう。

もうひとつ、この展示には仕掛けがあります。太陽を見ていると、そこに映像が映し出されています。それは、博物館で観測、撮影した太陽黒点なのです。太陽の活動が活発だった1991年の巨大黒点を連続して映し出しています。太陽は直径5.5mにもなるので、その一部、中心から西側に出ている黒点を映し出しています。この太陽全体像は、三階まで上がると、階段壁面に取り付けられたコンピュータ画面にまったく同じ太陽画像が表示されています。

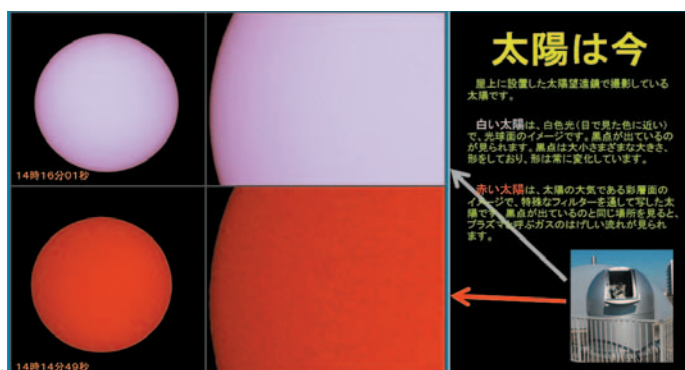
★太陽は今

晴れていれば黒点やプロミネンスなどを見ることが出来ます。屋上に設置した太陽望遠鏡は、晴れていれば1日中太陽を自動追尾して、デジタルカメラで撮影しています。その太陽画像をコンピュータ処理をして、画面に映し出しています。白い太陽と赤い太陽、2種類の太陽の全面像と拡大像を表示します。

白い太陽は、肉眼で見るのと同じ太陽イメージで、光球面という太陽表面を見えています。光球面には黒点の他にも粒状斑、白斑といった模様を見ることが出来ます。赤い太陽は、H α （エイチアルファ）線という水素が出す赤外線に近い光だけを取り出す特殊フィルターをつけた望遠鏡で見た太陽です。これは彩層面という光球面よりは少し上の太陽表面を見えています。彩層面は太陽の活動する様子が見え、黒点が現れる活動領域と呼ばれる場所のガスの流れなどを調べたり、太陽のふちに見えるプロミネンス（紅炎）と呼ぶ現象を見ることが出来ます。



「太陽と太陽系の惑星たち」展示パネル



「太陽は今」のモニター画面

5月の寄贈品コーナー

加藤あき植物観察画展 期間 5月3日(水)～6月4日(日)

加藤あきさんは、大正2年静岡県にお生まれになり、93歳になられた今もお元気で山北町に住まわれています。小学校の教壇に立たれて後、昭和40年から身近な草木の写生を始められ、1000種類、2000種類と描き続けていかれました。その素朴でおおらかな画風と、正確な観察は専門家の注目するところとなり、『花が好き人が好き』(1984年講談社)、『花との出あい』(1985年講談社)、『花がともだち連れてきた』(1989年大和書房)の3冊の本を出版されました。書名からも伺えるように、加藤さんのまわりには花好きな人の訪れが絶えず、その人柄は多くの方に愛されてきました。

このたび、ご縁があって、描き続けてこられた作品3115点を一括して平塚市博物館に寄贈していただくことになりました。博物館では、これらの作品を末永く保存するとともに、植物観察の参考資料として活用させていただきたいと考えています。

加藤さんの絵は、花の雰囲気を書きとというだけでなく、花のつくりや、根まで含めた植物の全形をきめ細かく観察して描かれている点に大きな特色があります。植物観察画と名づけた由縁ですが、観察の目を深めていくためのスケッチとして、お手本としたい絵だと思います。



一こどもフェスタ ひろぐらむー



- ・身近な石材調べ 6日10時～11時。文化公園内に使用されている石材を観察して歩きます。
- ・コースターづくり 6日13時～15時。水辺に生えているアシで、この世にひとつだけのコースターを作ります。
- ・縄文土器の拓本作り 7日10時～12時。縄文土器の文様を拓本にとって持ち帰ろう。
- ・わら草履づくり 7日10時～12時。自分サイズのわらじを作ろう。
- ・太陽を見よう 7日13時～14時。屋上の望遠鏡で太陽を観察します。
- ・火おこし対決！古代人vs太陽エネルギー 6日13時～14時。古代舞割り式とレンズに集めた太陽光とで発火の早さを競う。
- ・ろばたばなし 6日13時20分～13時50分と7日10時20分～10時50分の2回。1階展示室「相模の家」で昔話を語ります。
- ・お祭り太鼓体験 6日14時～16時30分と7日13時～16時30分。初めての人も叩ける人も思い切り太鼓を鳴らしてみよう。
- ・博士は君だ！小学生クイズ大会 6日と7日の15時～16時。小学生各10人で競う。ささやかなオリジナル景品がもらえるぞ。
- ・星を見る会 6日19時～20時30分。閉館後は博物館の屋上で天体観察ができる。テーマは「月と土星を見よう」。
- ・平塚空襲の紙芝居「おもいでのはつ」 7日13時～13時30分。2階展示室「昭和のくらし」前にて、平塚空襲の体験をお伝えします。
- ・漂着物クラフトづくり 7日13時～15時。虹ヶ浜海岸に打ち上げられた貝殻や流木を使って、アクセサリーや飾り物を作ります。
- ・地模型と遊ぼう 7日9時～17時。展示解説ボランティアの会のメンバーが1階地模型の“遊び方”を伝授します。
- New!**・春のこども茶会 6、7日11時～14時。1階茶室で中学生がお手前をします。大人も子供も一服のお茶で心をゆつりさせませんか。一服100円。(2日目はお菓子が終了次第、お茶席は閉じさせていただきます。協力：崇善地区婦人部長会)

燻蒸のおしらせ・博物館は6月6日(火)から16日(金)までの11日間、燻蒸(薬品を使って、収蔵庫内の虫やカビなどを殺す、収蔵品を守るために必要な作業です)のため休館します。

3 水 ☆	寄贈品コーナー「加藤あき植物画展」～6月6日	展示室
4 木	展示解説ボランティアの会	特研究室
6 土	平塚の古代を学ぶ会	講堂
	◎ 博物館こどもフェスタ	館内外
	◎ 星を見る会	屋上
	☆ 5月の星空ナビ	プラネ
7 日 ◎	博物館こどもフェスタ	館内外
11 木	石仏を調べる会	長持
12 金	古文書講読会	講堂
13 土 ◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
14 日	地質調査会	屋外
17 水	民俗探訪会 裏打ちの会 幼児向けプラネタリウム	講堂 科学室 プラネ
	～7月7日まで	
18 木	展示解説ボランティアの会	特研究室
19 金	古文書講読会	講堂
20 土	相模川の生い立ちを探る会 天体観察会	山北町 月光天
21 日	古代の生活を学ぶ会	科学室
	◎ ろばたばなし	民家
	天体観察会	月光天
	○ 水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
25 木	石仏を調べる会	入野
26 金	古文書講読会	講堂
27 土	地域史研究ゼミ	講堂
	平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂
	星まつりを調べる会	屋外
28 日	地質調査会	科学室
	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ

1 木	展示解説ボランティアの会	特研究室
2 金	古文書講読会	講堂
3 土	平塚の古代を学ぶ会	講堂
	○ 館長の自然講座	講堂
	☆ 6月の星空ナビ	プラネ
	☆ プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」～7月16日まで	プラネ
4 日 ◎	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
6 火	博物館燻蒸～6月16日まで	
10 土 ◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
11 日	地質調査会	屋外
15 木	展示解説ボランティアの会	屋外
17 土	古代の生活を学ぶ会	科学室
	地質調査会	特研究室
	天体観察会	屋上
	星まつりを調べる会	特研究室
	☆ 寄贈品コーナー「平塚空襲展」～7月30日	展示室
18 日 ○	民俗探訪会「金目川の水利用」	金目
	◎ ろばたばなし	民家
21 水	裏打ちの会	科学室
22 木	石仏を調べる会	入野
23 金	古文書講読会	講堂
24 土	地域史研究ゼミ	講堂
	平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂
	○ 自然の新聞を作る会	屋外
25 日	相模川の生い立ちを探る会	山北町
	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆ 30周年記念展 第3期 コレクションで見る30年
さまざまな資料を通じて30年の館活動を紹介します。

会期：5月14日（日）まで 会場：特別展示室

☆プラネタリウム

◎「こと座物語（復刻版）」

開館30周年を記念して、1991年制作・投影した名作を再投影します。名手オルペウスの琴が星座になるまで。

投影日：5月28日までの土・日の午前11時と午後2時
観覧料：100円（中学生以下無料）

◎「5月の星空ナビ」

毎月第一土曜日午後は、当月の天文現象を紹介・解説します。

投影日：5月6日（土）午後2時

観覧料：100円（中学生以下無料）

☆寄贈品コーナー「加藤あき植物画展」

加藤あきさんの描いた植物画の中から、春の花を中心に紹介します。

期間：5月3日～6月4日 場所：寄贈品コーナー

<参加者募集>

○館長の自然講座

毎月第一土曜日 午後2時～4時 全10回

第1回 6月3日「平塚のカエル」

申込：全体の半分以上出席できる方。5月20日までに往復ハガキで。希望者多数の場合は抽選で60名。

◎星を見る会

博物館屋上で天体観察を行います。

日時：5月6日（土）午後7時～8時30分

場所：博物館屋上

参加：自由（玄関左の扉から入ってください）

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：5月13日（土）午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由（初めての方は往復はがきで申し込むこと）

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：5月21日（日）(1)午後1時20分～(2)午後3時～

場所：展示室民家

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

日時：5月28日（日）午後3時30分～4時30分

場所：プラネタリウム室

あなたと博物館 32巻2号 通算353号 発行 平塚市博物館 250円 ホームページのアドレス

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>

が変りました!